

講座名（専門科目名）	内科学（老年・総合内科学）	教授氏名	山本 浩一
学生への指導方針	老年科および総合診療における臨床経験を大切に、そこで生じた疑問や問題点の解決や臨床応用に向けた臨床研究および基礎研究を指導する。その中では個々の自由な発想を反映でき、自主性を重んじた研究指導を行いたいと思う。多職種連携を重視する診療科でもあることより、non-MD の学生指導も積極的に行っている。また、そこで習熟した知見や技術を後進にも伝えることができる指導者の育成も目指す。		
学生に対する要望	老化研究および総合診療研究を行っていく中で、常に臨床に還元したいというリサーチ・マインドを持ち、先進的手法も積極的に盛り込んだ独創的研究を行うことを目指してほしい。また、上記方針より老年医学をより深く探究することを希望する non-MD の方々の募集も行っている。		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6879-3852 (Email) takami@geriat.med.osaka-u.ac.jp	担 当 者	鷹見洋一
その他出願にあたっての注意事項等			

（以下教室紹介）

当科における老年医学研究の目的は、高齢者が自立した生活を送ることができる健康長寿の延伸を目指し、さらに、最期の段階においても「良い人生だった」と思うことができる幸福長寿に寄与することです。そのためには高齢者の医療、介護に関連した様々な視点からの幅広い研究が必須であり、学内のみならず学外の関連教室とも共同して研究を行っています。特に「フレイル」（健康と要介護の中間状態で予備能力低下を示すが、可逆的な段階）は重要な介入ポイントで、様々な加齢性疾患においてもトピックとなっている病態です。当教室では、フレイルのメカニズムの解明、評価・治療法の開発、予防、介護移行期のケアの最適化などを研究しています。また、当教室は高血圧・老化、フレイル・糖尿病、認知症、総合診療の研究グループで構成され、基礎研究や臨床研究を通じて高齢期の疾患や機能低下の影響を軽減する方法を開発しています。医学部附属病院での診療では、老年科をはじめ様々な専門分野の知識を持つ医師が高齢者医療、総合診療に対する包括的な診療能力を高め、老年・総合診療医の育成に注力しています。更に、AI を含む先進医療の研究開発も進めています。

各研究グループの研究内容は、下記ホームページからご覧になれます。また共同研究や大学院生の派遣など密な連携を保つ兄弟教室の臨床遺伝子治療学、健康発達医学、先端分子治療学、遺伝子幹細胞再生治療学、保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学、老年看護学の研究紹介も併せてご覧ください。

大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学ホームページ

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/geriat/www/>